佐野市景況レポート

平成26年1～3月期

佐 野 商 工 会 議 所
〒327-0027　佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511　FAX 0283 (22) 5517
HP　http://www.sanocci.or.jp
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告
（平成２６年１～３月期）

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業２９０社を対象に調査し、１８９社（回答率６５．１７％）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《　概　況　》

消費増税後の反動減に不安

財務省と内閣府が 3 月 12 日に発表した、平成 26 年 1－3 月期法人景気予測調査によると、企業の景況感を示す景気判断指数（BSI）は、1－3 月期に大企業全産業で+12.7 と平成 16 年以降で最高になった。消費増税後の 4－6 月期は大企業で▲9.8 と落ち込むが、7－8 月期は+8.3 とプラスに戻る見通しだ。一方、中小企業は 1－3 月期で+0.1、4－6 月期は▲17.9、7－9 月期は▲3.6 と、大企業に比べ厳しい見通しだ。

消費増税後の反動減に、「それほど心配する必要ない」と経団連会長は楽観視するが、国民の大半を占める中小企業の従業員や非正規労働者、中小企業事業者との景況感の温度差は大きい。

個別企業に目を向けると、「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングが、今までの商売の仕組みを 180 度変えていると、日経ビジネスに紹介された。柳井会長兼社長は、「これからは、店舗の『スタッフ』一人一人を主役にする」と宣言し、パート・アルバイト 1.6 万人の正社員化を決断した。30 年前は 1 店舗の中小企業であったユニクロは、挑戦と挫折の中で成長を続け、今も、「店舗全員経営」で市場飽和を破り、新たな成長をつかもうとしている。

景気が良くなるに越したことはないが、悪くなっても、中小事業者は自身と社員の生活を守り続けていかなければなりません。今後、市内事業者様の挑戦と革新による新たな成長を期待します。

次に、佐野市の平成 26 年 13 月期の景気調査概況を見ると、全業種業況 DI 指数▲5.0、前期（10～12 月）比▲11.4 と大幅な業況悪化となった。

利益 DI 指数（1～3 月期）は▲19.3、10～12 月期比▲9.5 と業況 DI 指数と同様な悪化となった。これは、売上高 DI 指数▲6.2、10～12 月期比▲11.5 と大幅悪化による。

今後 3 ケ月間（平成 26 年 4～6 月）の全業種業況 DI 指数は、▲25.0、1～3 月期比▲22.1 と大幅な悪化を予想する。これは、4～6 月の売上高 DI 指数▲29.0、1～3 月期比▲26.7 の大幅悪化による。

景気調査協力事業所の景気に対するコメントをみると、消費増税後の需要減少と仕入価格の上昇を不安視する声が多く、先行きの不安・不透明感は急増している。

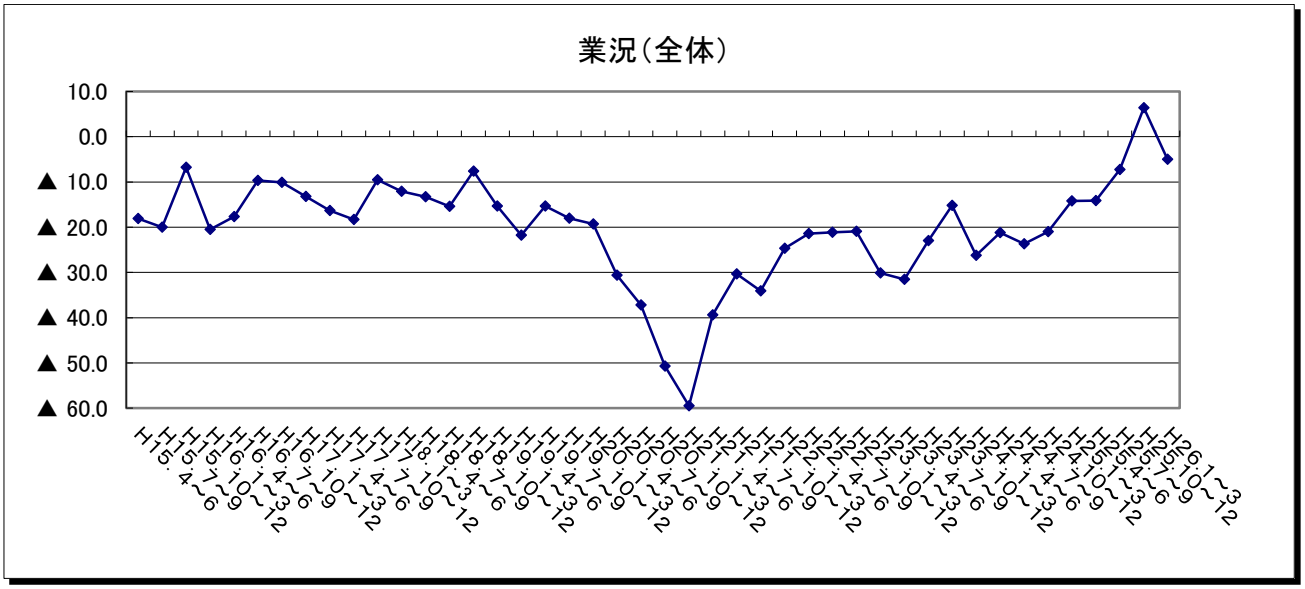
調査協力：ＯＫコンサルティング　代表　岡野　清（中小企業診断士）

☆　業況について

全業種 DI 指数▲5.0、前期比 11.4 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① 機械・金属製造業 20.5 ポイント、②設備業 6.1 ポイント、③小売業（飲・食料品）及び卸売業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲6.4 ポイント

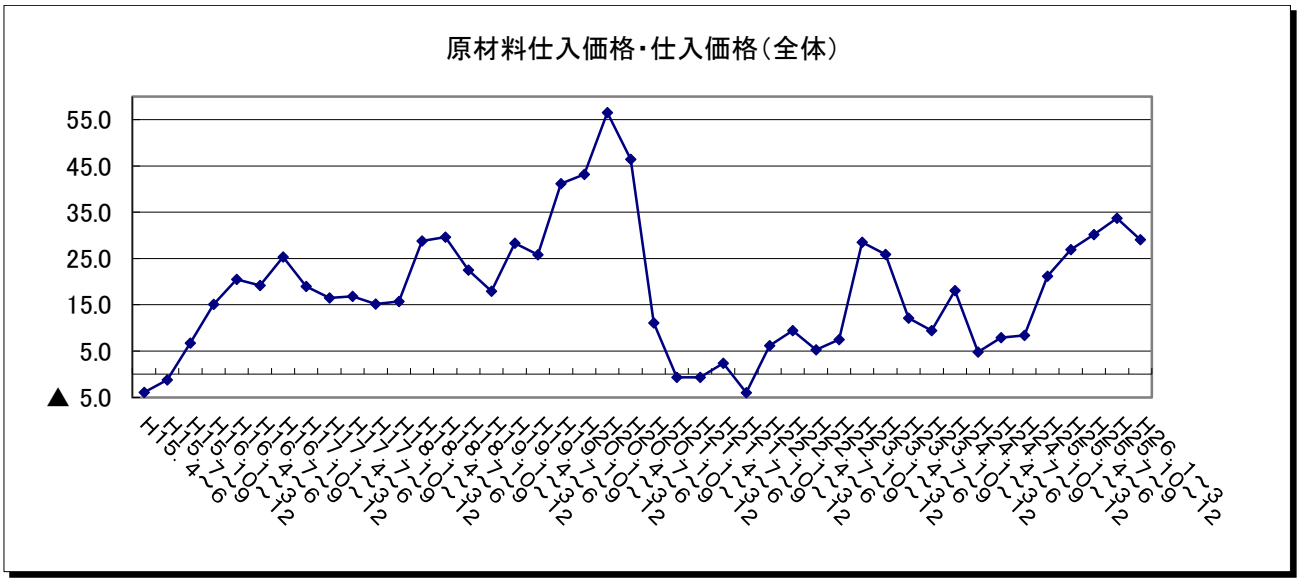


☆　原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 29.1、前期比 4.6 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① 建設業 52.9 ポイント、②食品製造業及び飲食店 42.9 ポイント、④設備業 29.4 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 28.8 ポイント



☆　売上高について

全業種 DI 指数▲6.2、前期比 11.5 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

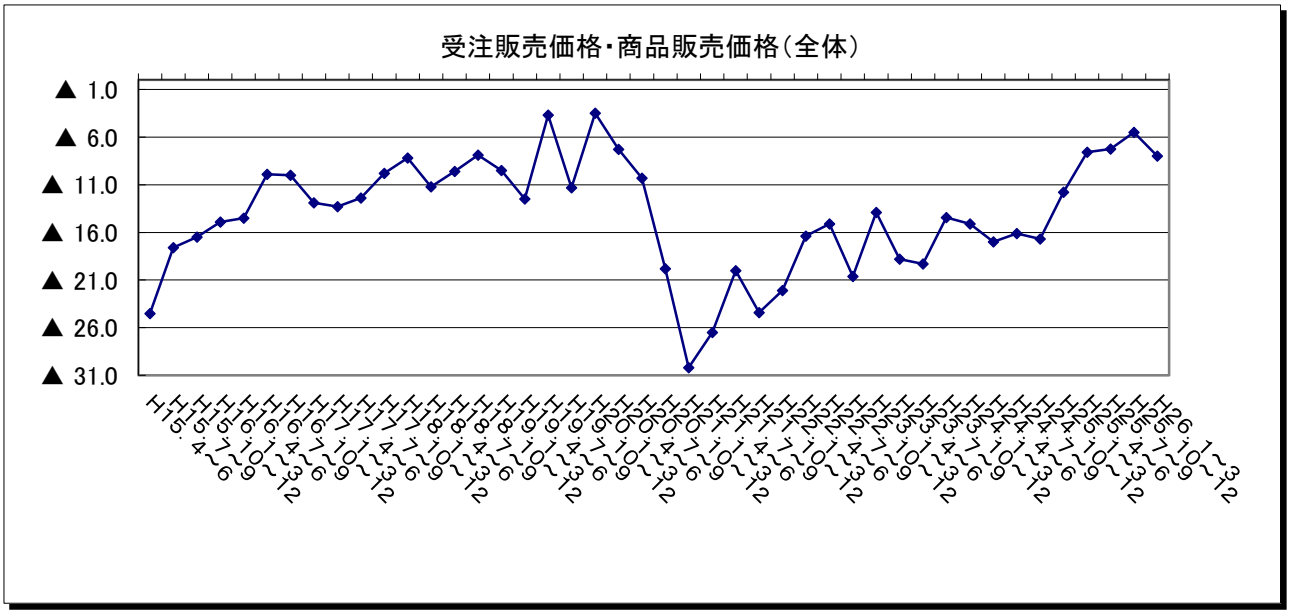
① 機械・金属製造業 16.9 ポイント、②設備業及び化学・プラスチック製造業、その他の製造業、卸売業、その他の小売業（大型店含む）0.0 ポイント

☆　受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数▲8.0、前期 2.5 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① その他の製造業 14.3 ポイント、②機械・金属製造業及び卸売業、小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、⑤サービス業▲7.3 ポイント

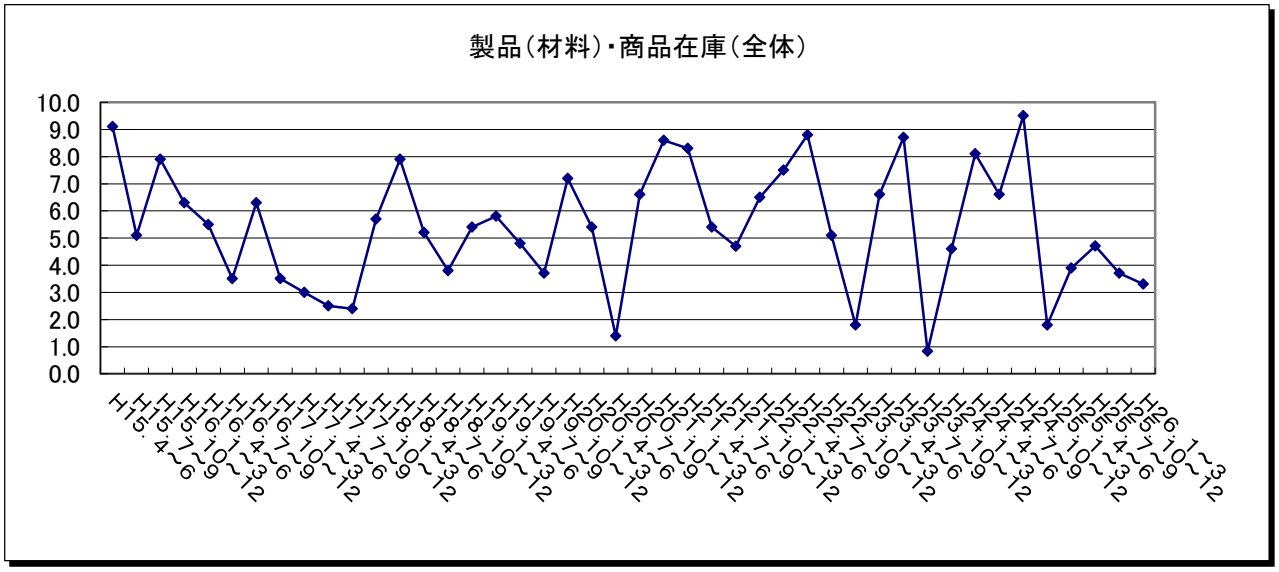


☆　製品（材料）在庫・商品在庫について

全業種 DI 指数 3.3、前期比 0.4 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① 卸売業 16.7 ポイント、②機械・金属製造業 15.5 ポイント、③小売業（飲・食料品）11.1 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）及び飲食店、サービス業 0.0 ポイント

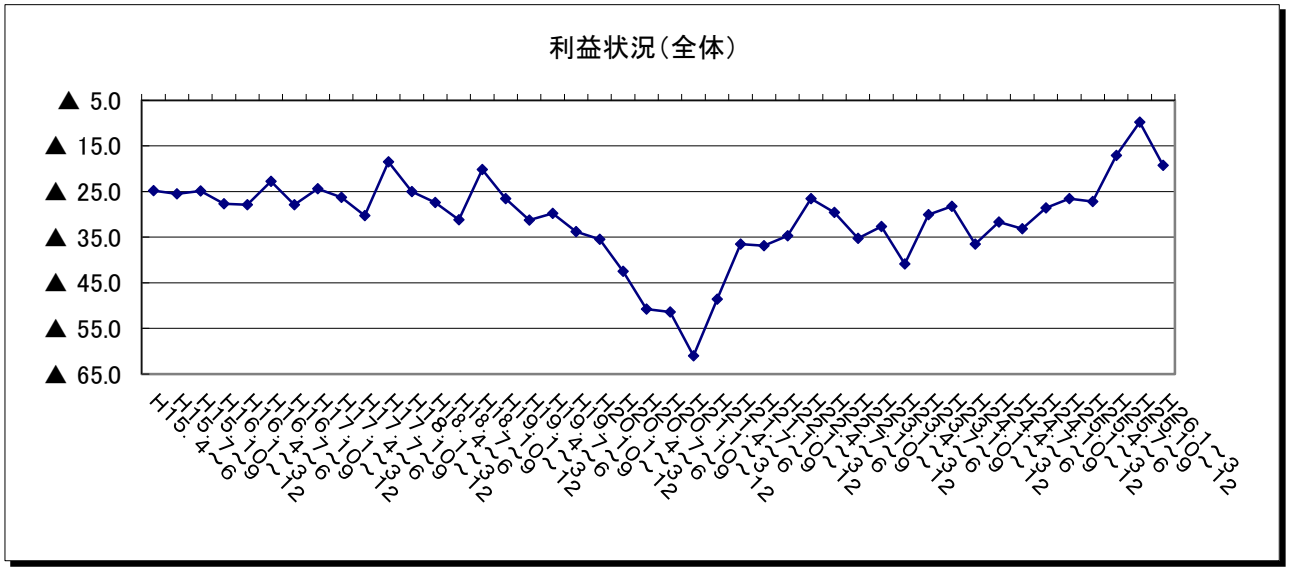


☆　利益状況について

全業種 DI 指数▲19.3、前期比 9.5 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①　その他の製造業 27.3 ポイント、②機械・金属製造業▲6.4 ポイント、③小売業（飲・食料品）▲12.0 ポイント④卸売業▲16.7 ポイント、⑤繊維品製造業▲18.4 ポイント

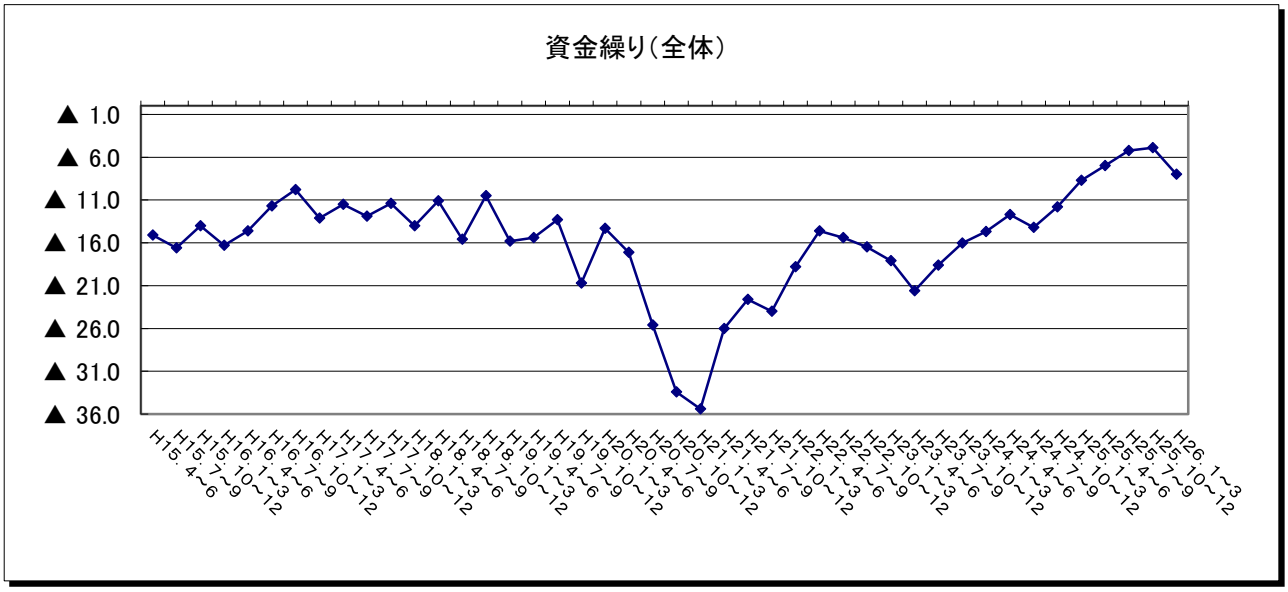


☆　資金繰りについて

全業種 DI 指数▲8.0、前期比 3.1 ポイント悪化

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①　卸売業 24.3 ポイント、②機械・金属製造業 6.0 ポイント、③その他の製造業 0.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲4.0 ポイント、⑤食品製造業▲4.8 ポイント

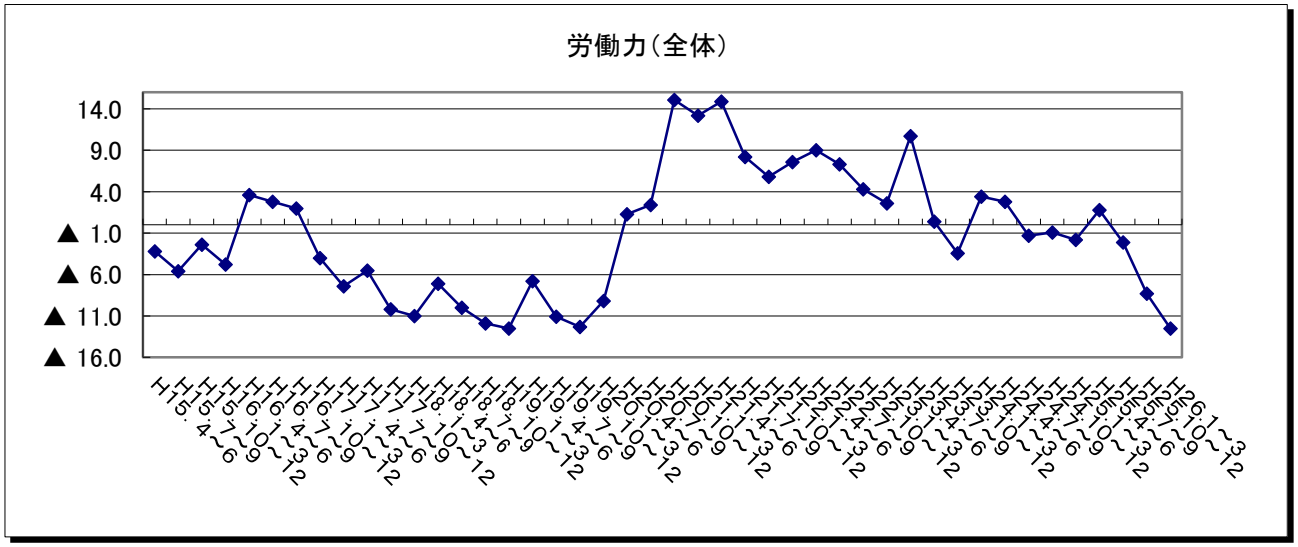


☆　労働力について

全業種 DI 指数▲12.5、前期比 4.2 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① 飲食店 8.1 ポイント、②その他の小売業（大型店含む）及び繊維品製造業 0.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲4.2 ポイント、⑤食品製造業▲10.0 ポイント

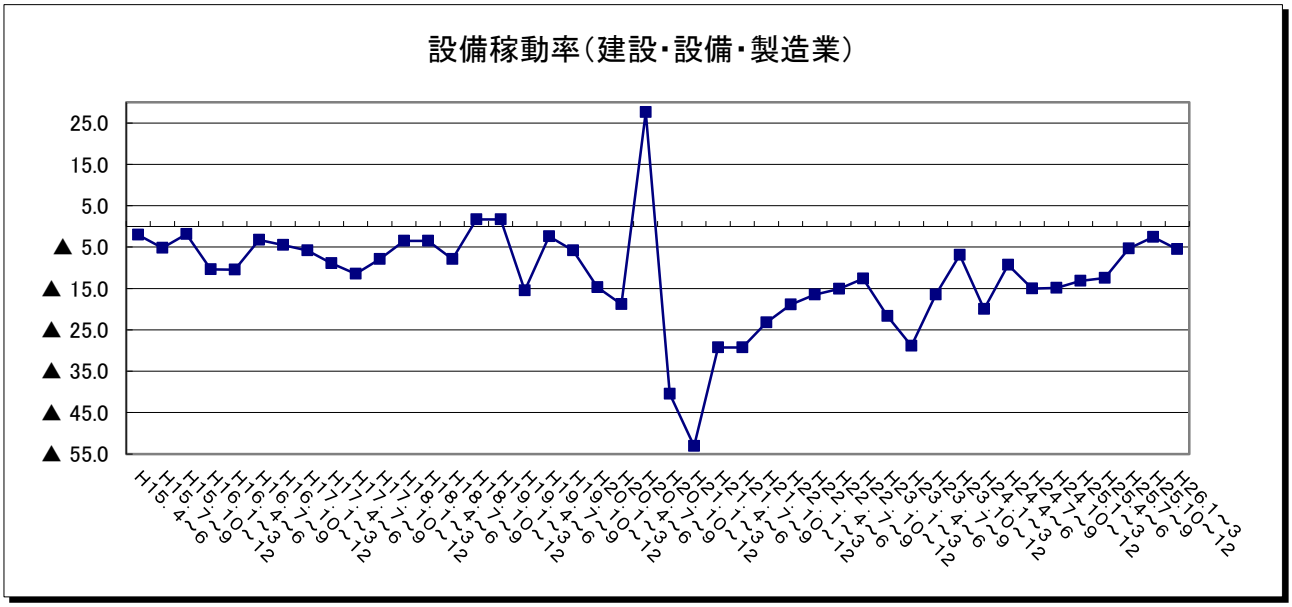


☆　設備稼動率について（建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲5.5、前期比 2.9 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① その他の製造業 13.0 ポイント、②機械・金属製造業 9.5 ポイント、③設備業及び繊維品製造業、食品製造業 0.0 ポイント



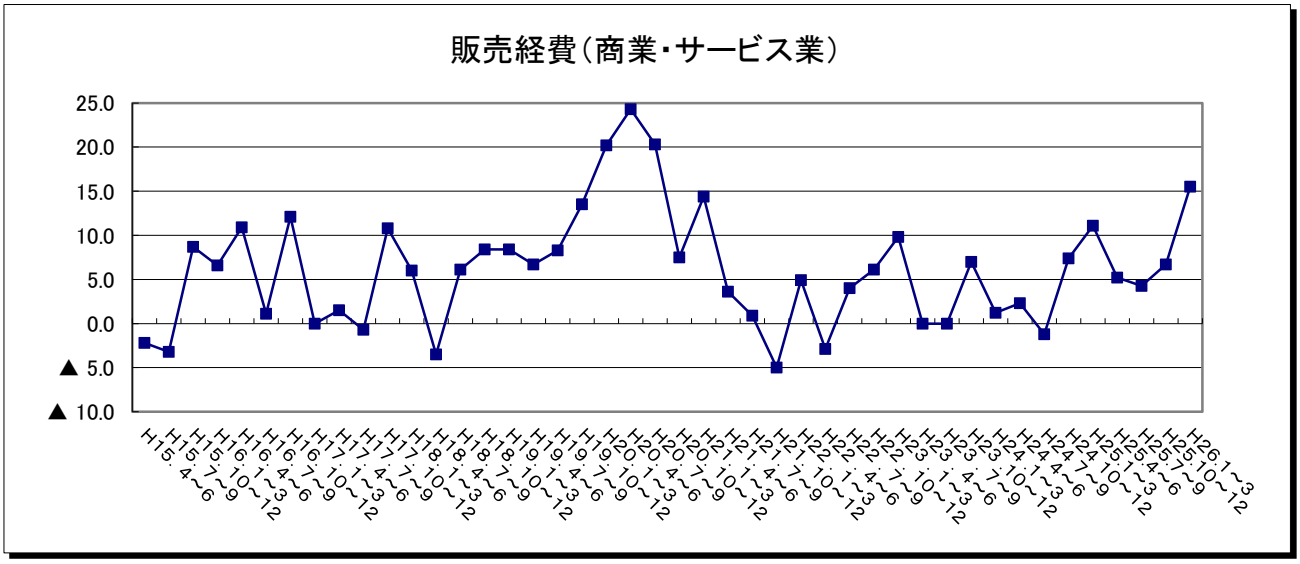
☆　販売経費について（商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数 15.5、前期比 8.8 ポイント増加

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① その他の小売業（大型店含む）25.0 ポイント、②卸売業 24.3 ポイント、③小売業（飲・

食料品）17.0 ポイント、④飲食店 16.7 ポイント、⑤サービス業▲7.7 ポイント



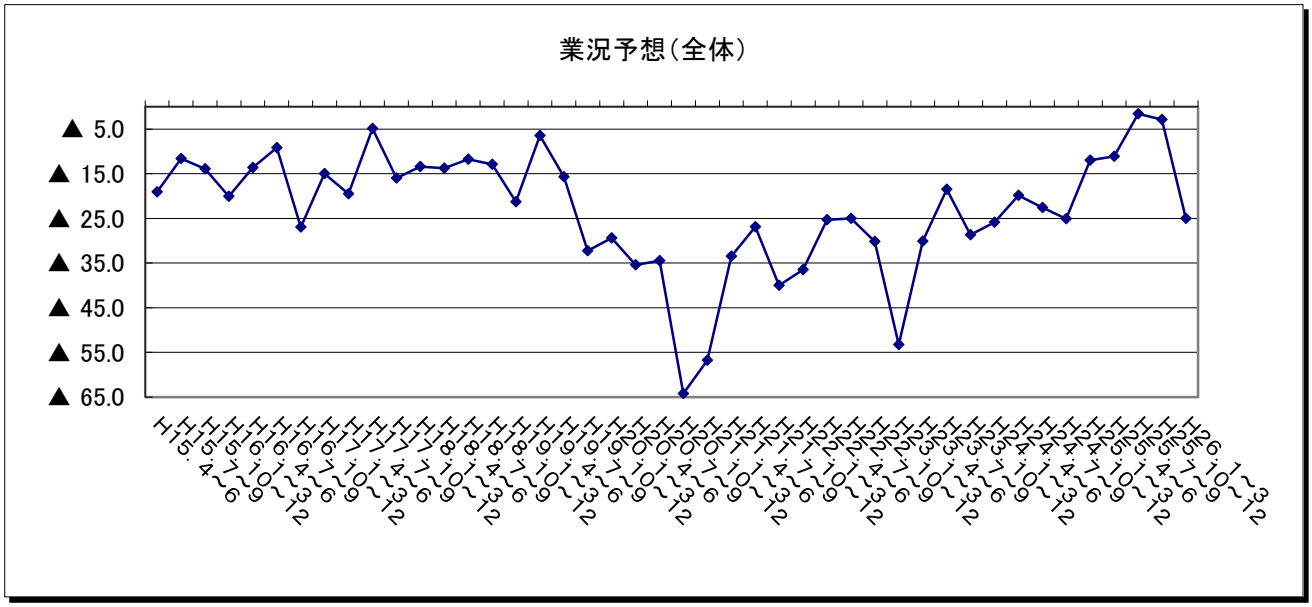
☆　今後 3 ヶ月間（平成 26 年 4～6 月期の見通し）の業況について

全業種 DI 指数▲25.0、前期比 22.1 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

① 機械・金属製造業 6.4 ポイント、②その他の製造業及び卸売業、建設業 0.0 ポイント、

⑤ 繊維品製造業▲6.1 ポイント

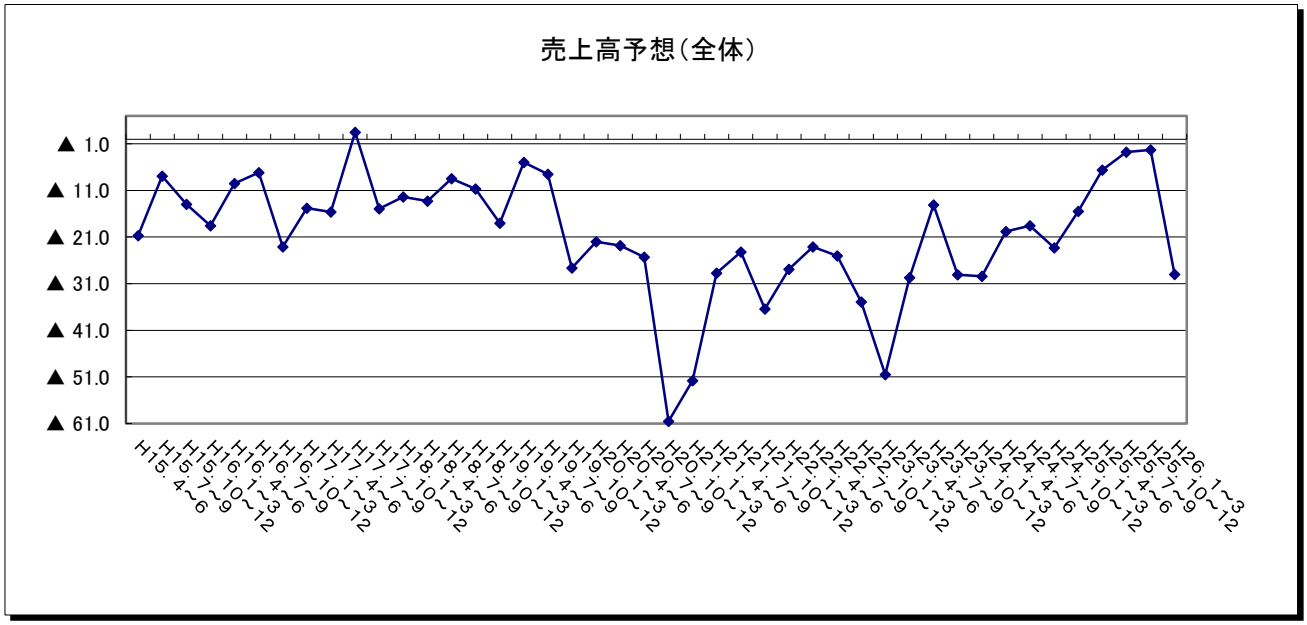


☆　今後３ヶ月間（平成 26 年 4～6 月期の見通し）の売上高について

全業種 DI 指数▲29.0、前期比 26.7 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①　機械・金属製造業 0.0 ポイント、②卸売業▲8.1 ポイント、③建設業▲11.1 ポイント、④繊維品製造業及びその他の製造業▲13.0 ポイント

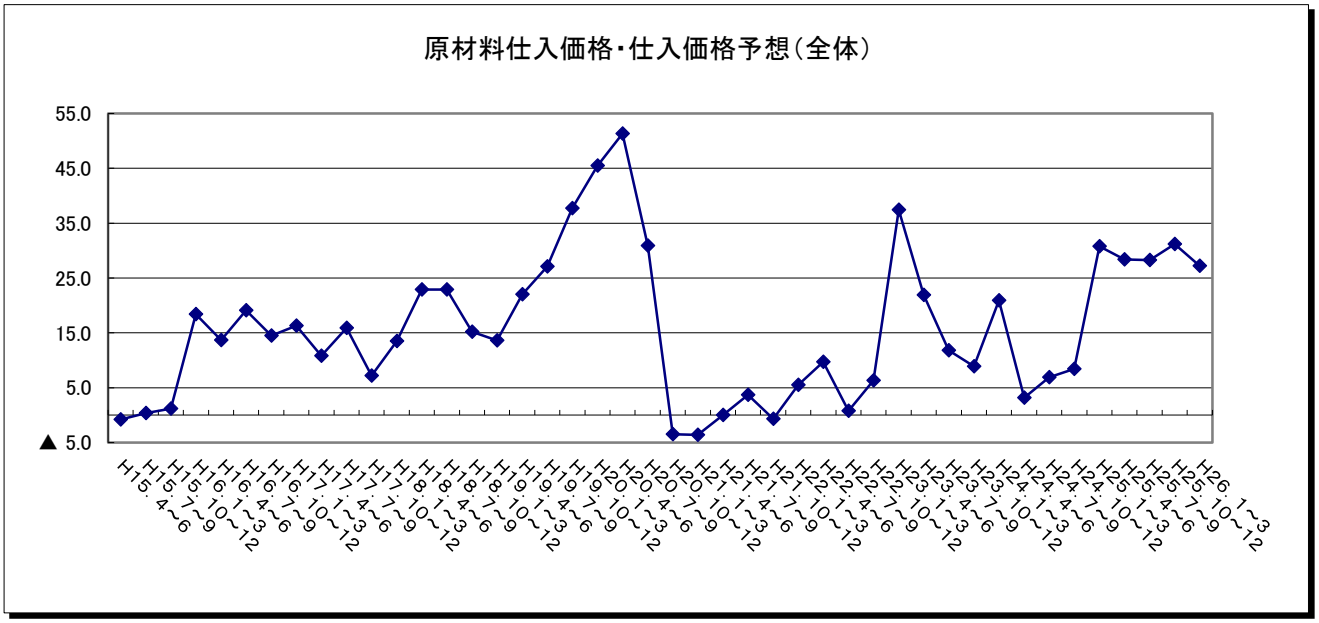


☆　今後３ヶ月間（平成 26 年 4～6 月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 27.2、前期比 4.0 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①　食品製造業 49.1 ポイント、②飲食店 45.5 ポイント、③小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、④建設業 39.6 ポイント、⑤繊維品製造業 29.4 ポイント

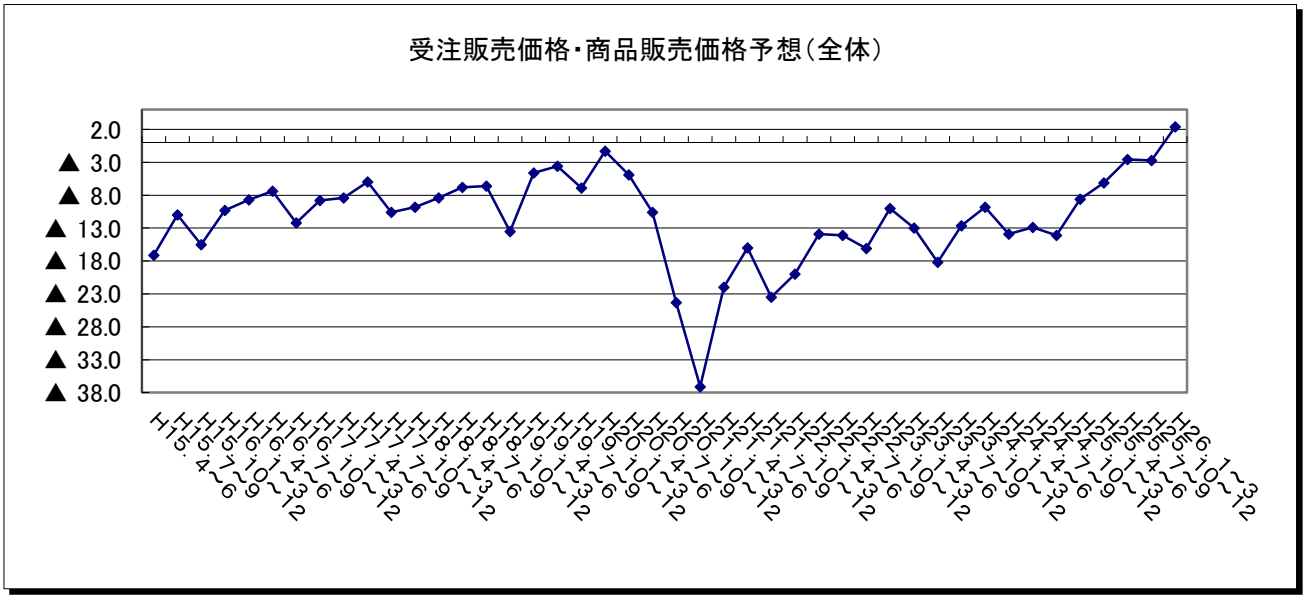


☆　今後３ヶ月間（平成 26 年 1～3 月期）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 2.4、前期比 5.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①　その他の製造業及び小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、③その他の小売業（大型店含む）18.4 ポイント、④サービス業 14.3 ポイント、⑤繊維品製造業 12.0 ポイント



☆　市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

・政府の通りにはいきません。中小企業が良くなるには、まだ時間がかかると思います。
・５０歳～８０歳の社長が息子、孫に後を継がせないと思っている。佐野に天災があったらどうなる。重機、ダンプ少なくなった？
・４月１日よりの消費税ＵＰにより、景気がどうなるか心配ですね！ロシアとウクライナの問題その他、世界的にあちこちで対立している問題があり、不安材料があります。
・景気回復もままならない所。消費税が４月から８％。納税が大変です。

設備工事業

・３月は期末などでそこそこ仕事があるのは当たり前ですし、消費税前のかけこみもあるし、４月以後がたいへん！

繊維品製造業

・原材料仕入で２％～３％上がりました。
・売上に関して、増税前の駆け込み的なところもあるので、今後の動きが若干心配です。

食品製造業

・増税で負のスパイラルにならなければいいのですが…。先が見えず、不安ばかりです。どうなることやら…。
・原材料の仕入価格が上昇し、消費税が上がる４月以後が心配。
・３月消費税がらみで忙しくなると思ったが、前半はとても静か。食べる物はそれほど皆あわてない感じ。
・２月雪のため売上悪い。
・消費税ＵＰの影響がどの程度出てくるのか不透明。コンビニ向け食品ですので買い控えが予想以上かどうなのか…。原料購入で大雪の影響がまだ残っています。
・４月からの消費税の引上げによる、消費の落込みが不安です。

機械･金属製品製造業

・消費税３％ＵＰで、３月末までの売上はいろいろな業界でＵＰすると思う。４月からは、少々下落する事も明確だと思う。それより、震災から３年もたつのに、いまだに景色の変わらない町があるのは情けない！！
・仕事は多くあるが、職人不足で消化不良の状況。又、物流もトラック不足で支障が出ている。従って建設業界は暫く現状で推移する。（やや好況な状況）
・４月１日後、世の中の動きが見えないので？仕事の話は有るのですが、受注どこまでできるかです。
・消費税８％が浸透するまでは、必要品だけ購入という状況がしばらく続くと思う。景気はしばらくの間低迷するかも？
・今後、原材料の価格が上昇していくものと思われます。
・４／１以降、消費増税が材料費のコストＵＰになると懸念される。大企業と比べて中小企業は景気回復感が全くない。消費増税が追い打ちになるような気がしていま

す。
・(電気代、ガス代)価格高のため赤字経営。業況は最悪である。

化学･プラスチック製品製造業
・平成２５年１２月、平成２６年１月―売上半減も３月に入って増加。
・消費税の前倒し発注と思われます。
・引き続き円安の煽りを受け厳しい状況です。消費税ＵＰによる需要により売り上げは増えました。
・今回特になし。

その他の製造業
・１～３月は需要期で受注も多く売上げ生産も上がった。消費増税でのかけ込み需要もあるが、来期もこのまま推移する模様。
・お客先では、仕事量はあるが、人手不足や車両不足等で受注できない状況が続いているため、ことしになり出荷量が落ちている。

卸売業
・値上げ価格転嫁交渉困難なケースが多々ある。アレルギー対策が大変である。
・増税に伴う値上げが仕入分に対して販売価格への転嫁が追い付いていない。
・仕事の量が、消費税、雪害等で急に増えているが労働力不足でこなしきれていない。

小売業（飲･食料品）
・４月からの消費税８％で消費が冷え込むことは確実。食品業界にもそのあおりが来ると思われる。
・中央の大企業は景気が良さそうに見えるが、我々地方の小企業は苦戦をしており、４月から消費税が８％になるとますます低迷する予感がする。
・消費税が８％になるので売上が落ち込むのが予想されます。
・材料の値上げが多くなったため４／１の消費税の値上げと一緒に価格の見直しをしないと大変です。
・消費税と原材料の値上がりに苦慮しています。
・①売上昨年比　９８％　②客単価昨年比　１０３％　③客数昨年比　９５％
客数のダウンが大きい。

その他の小売業（大型店含む）
・消費税ＵＰ前の備蓄、備品(イス、机他)、コピー機の需要あり。特需景気あり、４月以降が心配される。
・当期は売上、仕入もうまくいった。２月～３月は増税のため、使うものは購入客は増えた。４月からは、その反動が来ると思う。
・セールと増税前の駆け込みも少しあって、２月の低迷をカバーした感じ。
・来店客数が減少しております。
・増税後の状況が読めません。

飲食店
・第１期中なので不明な点もありますが、消費税上昇の影響は必ず出ます。必然的に仕入価格が上がるため、価格も変更せざるを得ないと思います。
・消費税が８％に変わり、材料費も値上りしています。飲食業はかなりきびしい状況です！

・仕入価格アップ(消費税)分を販売価格に上乗せできるか、不安。メニュー作りに苦心しています。
・消費税が上がるというとは仕入原価が上がるということ。販売価格に上乗せ出来るか？
・２月の週末連続の大雪のため、売上大幅ダウン。増税かけ込み買いのため外食にまわらず。

サービス業

・４／１からの消費税率８％移行は、業況から見たら１００％失敗でしょう。昨年中は良くなる兆しがありましたが、今年に入り悪くなる一方です。
・高齢者の年金の手取りが引かれて少なくなり、物価は上がり老人さんは借金してまで買う事はしません。７月頃から物価は下がり売れないために倒産が出ると思われます。

佐野市景況調査　要項

1　調査時期　　平成２６年１月～３月

2　調査業種　　佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など２９０社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）２００社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）９０社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	２５社
② 設備工事業	２１社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	２２社
② 食品製造業	１８社
③ 機械・金属製品製造業	４０社
④ 化学・プラスチック製品製造業	３６社
⑤ その他の製造業	２２社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	１５社
② 小売業（飲・食料品）	２３社
③ その他の小売業（大型店含む）	２７社
④ 飲食店	１９社
⑤ サービス業	２２社

3　分析方法[景況動向指数（ＤＩ）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「０」で上限限度は、＋１００・－１００となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

ＤＩ方式は、

$$\frac{3x-3z}{3x+4y+3z}\times 100$$

により算出

ｘ：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

ｙ：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

ｚ：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

4　主　　管　　佐野商工会議所

5　調査協力　　佐野市あそ商工会

6　お問合先　　佐野商工会議所経営支援課　　℡（代表）0283-22-5511